様式第2号(第5条関係)

記 入 例

誓約書兼同意書

(宛先) 倉吉市長

倉吉市犯罪から市民を守る防犯機器購入補助金交及び同意します。

内容を確認していただき、チェックをしてください。

	記	
	誓約・同意事項欄	チェック欄
1	<申請者が独居以外の場合> 防犯機器の購入・設置について同居人からの同意を得ています。	Ø
2	購入した防犯機器は、60歳以上の者が居住する倉吉市内の住宅に設置します。また、 転売・譲渡等を目的としていません。	V
3	今回申請する防犯機器について、他の補助金の交付は受けていません。	$ \overline{\mathbf{Z}} $
4	申請者及び同一世帯員について、鳥取県の犯罪から県民を守る緊急対策事業補助金を活用して防犯機器を設置していません。また、倉吉市が鳥取県に対し、申請者及び同一世帯員に係る「犯罪から県民を守る緊急対策事業補助金」受給状況を照会することについて、同意します。	Ø
5	倉吉市から、本補助金に関し報告・調査の求めがあった場合は、これに応じます。	
6	暴力団、鳥取県暴力団排除条例第2条第2号に規定する暴力団員、暴力団員及び暴力団等の利益につながる活動を行い、又は暴力団等と密接か関係を有する者ではありません。	Ø
7	補助金交付後、補助要件を満たして 助金の交付を受けたことが当 60歳以上の者と同一世帯の者が申請す に補助金を返還します。 る場合に、記入してください。	
8	今回申請する防犯機器は、対象者が申請時に満60歳となっている	
9	<賃貸物件に設置する場合	∠
【申請者が60歳以上の者と同一世帯員である場合】		
10	60歳以上の者と同一世帯員です。 (60歳以上の者の生年月日及び氏名を記入してください。) 生年月日 昭和35年 10月 10日 氏名 打吹 花子	Ø
【以下、防犯カメラ設置の場合】		
11	設置場所は、申請者が居住する住宅の敷地内です。	
12	撮影範囲は申請者が居住する住宅の敷地内です。やむを得ず撮影範囲に敷地外が入る場合は、撮影範囲に入る住宅等の使用者に事前説明を行い、同意を得ています。	Ø

令和 <mark>7</mark> 年 <mark>7</mark> 月 <mark>7</mark> 日 申請者

<u>生年月日 昭和 55</u> 年 <u>5</u> 月 <u>10</u> 日

住所 倉吉市葵町 722

氏名 打吹 太郎

※倉吉市犯罪から市民を守る防犯機器購入補助金交付申請書兼実績報告書(様式第1号)と併せて提出してください。

(チェック欄にチェックマーク☑を記載してください。)